

## 脳血管センター専門外来のご案内

脳神経外科/脳血管内治療科の専門外来は、第二川崎幸クリニックにて行っております。また、脊髄脊椎外来・頭痛外来も第二川崎幸クリニックで行っています。(夕方診療は川崎幸クリニックになります)  
ご希望の予約がとりにくい場合もございます。その際は、川崎幸病院地域医療連携室までご相談ください。  
また、救急疾患、入院治療は川崎幸病院で行っております。緊急を要する際には川崎幸病院に御連絡ください。

### 脳血管センター専門外来担当表 (2015.10.1現在)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
<small>社会医療法人財団 石心会</small> <b>第二川崎幸クリニック</b> ◎：脊髄脊椎外来 ◆：脳血管内治療科	午前	◎神林 智作 安江 正治	◆壺井 祥史 安江 正治	◆永尾 征弥 間 淑郎	安江 正治	◎神林 智作 安江 正治	磯谷 栄二 熊井 潤一郎
	午後	成清 道久 安江 正治	安江 正治	安江 正治 間 淑郎	安江 正治	◆永尾 征弥 安江 正治	
<small>社会医療法人財団 石心会</small> <b>川崎幸クリニック</b>	夕方	◎神林 智作	成清 道久	壺井 祥史 ◆永尾 征弥		安江 正治	

※ 脳血管センターの夕方診療は、川崎幸クリニックで行っています。

### 頭痛外来担当表 (2015.10.1現在)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
<small>社会医療法人財団 石心会</small> <b>第二川崎幸クリニック</b>	午前		壺井 祥史		安江 正治		
	午後		安江 正治				

### 第二川崎幸クリニック

川崎市幸区都町39-1

044-511-2112

#### 電話予約受付時間

平日/8:00~20:00  
土曜日/8:00~17:00  
日曜日/8:30~17:00  
祝日/9:00~17:00

#### 診療時間

月~土 午前 9:00~12:00  
午後 14:00~16:30  
※夕方診療は川崎幸クリニックで診療致します。  
夕方診療 17:30~19:30

### 緊急を要する際には



### 脳卒中ホットライン

### 24時間365日対応

脳卒中に対してはホットライン対応します。  
(t-PA・手術等対応)

☎ :090-2407-9027

### 救急/入院

### 川崎幸病院



代表:

044-544-4611  
(24時間対応)

連携室直通:

044-544-4638

川崎幸病院 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



社会医療法人財団 石心会

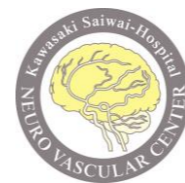
## 川崎幸病院

## 地域医療連携室ニュース

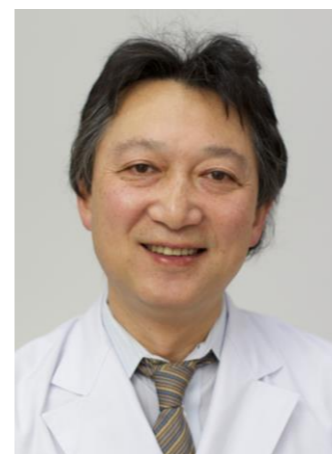
いま求められる医療をもっと高めたい

2015  
Vol.9

川崎幸病院 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)  
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



## 川崎幸病院 脳血管センター 診療体制のご紹介



川崎幸病院  
脳血管センター長  
脳神経外科部長  
神林 智作

お世話になっております。日頃は患者さんの御紹介誠にありがとうございます。

脳血管センターは、脳神経外科と脳血管内治療科で構成され、脳・神経疾患に対する先進医療の提供と脳卒中における超急性期治療および予防的治療を積極的に行っています。

当センターでは、脳神経外科医が365日24時間体制で常駐し、さらに救急隊とはホットライン対応をしており、可能な限り脳卒中の患者さんを受け入れる方針をとっております。さらに、脳卒中における開頭手術・脳血管内治療の両方がつねに可能な体制をとっており、また超急性期の脳梗塞に対しては血栓溶解療法(t-PA投与)も積極的に行っています。

具体的には、クリッピング術・バイパス術など従来の開頭手術と併せ、脳血管内治療においては、コイルを用いた脳動脈瘤塞栓術、頭頸部・頭蓋内脳動脈狭窄・閉塞に対するバルーン・ステントを用いた血管形成術等を行っております。さらには、最新の血栓回収デバイスを用いた血栓除去術を導入するなど、超急性期から慢性期まで適応に応じて最新の技術を取り入れて行っております。

#### ■ 専門分野

- ・ 脳血管障害の診断と治療
- ・ 脊髄・脊椎及び末梢神経疾患の診断と治療
- ・ 脳血管障害
- ・ 脊髄脊椎疾患の手術

#### ■ 認定資格等

- ・ 医学博士
- ・ 日本脳神経外科学会専門医
- ・ 日本脳卒中学会専門医
- ・ 厚生省認定 臨床研修指導医

私たちは、急性期脳卒中の治療を全身の血管障害として、血管病に関わる他科との連携も含め、常に最善の質の高い最先端治療の提供に努めるとともに、SCU・一般床の専門看護師、リハスタッフ、MSWと連携し、速やかな社会復帰・在宅支援等を行い、地域に貢献していきたいと考えております。引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます

#### 診療対象疾患

##### 脳卒中

脳内出血・脳梗塞・くも膜下出血

##### 脳卒中関連疾患

未破裂脳動脈瘤/頸部内頸動脈狭窄・閉塞/脳動脈狭窄・閉塞 など

##### 脳腫瘍

##### 脊髄・脊椎疾患

頸椎・胸椎・腰椎のヘルニア、変性疾患、腫瘍 など

##### 脳神経・末梢神経疾患

三叉神経痛・顔面けいれん、手根管症候群 など

##### 頭部外傷



## 脳卒中治療（急性期治療・予防的治療） ～365日24時間体制で受入れます～

脳血管センターは、開設時より脳卒中の急性期治療を重視し、常に急性期の脳卒中の診断、治療が可能な体制を整えてまいりました。当院では、脳神経外科医が365日24時間体制で常駐し、救急隊からのホットライン(直通電話)に迅速に対応し、可能な限り急性期脳卒中の患者さんを受け入れる方針をとっております。



救急隊との24時間ホットライン対応

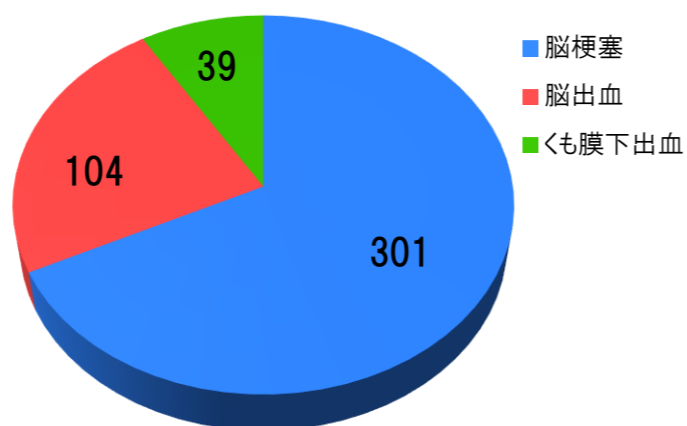
### ■ 常に開頭手術・脳血管内手術に対応しています

当院は、常に開頭手術・脳血管内手術ができる数少ない施設の一つであり(川崎南部医療圏では唯一)、患者さんの病態により、最も適した治療を選択しています。

クリッピング術・バイパス術などの開頭手術と併せ、脳血管内治療においては、コイルを用いた脳動脈瘤塞栓術、頭頸部・頭蓋内脳動脈狭窄・閉塞に対するバルーン・ステントを用いた血管形成術等を行うとともに、最新のデバイスを積極的に導入し、超急性期から慢性期まで適応に応じて最新の技術を取り入れております。

さらに、超急性期の脳梗塞に対しては血栓溶解療法(t-PA投与)も積極的に行っています。

### ■ 急性期脳卒中入院患者444例内訳(2014年)



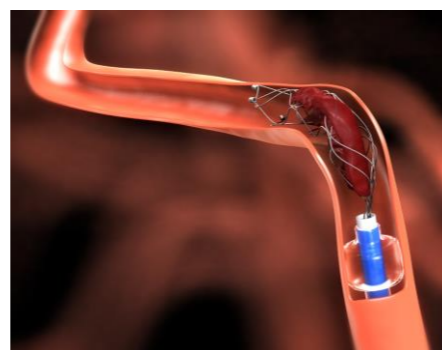
### ■ 血栓除去術 ～新しい血行再建術～

バルーン・ステントを用いた血管形成術等と併せて、カテーテルを用いて血栓を取り除く血栓除去術を最新鋭の血栓回収デバイス(Merci, Penumbra, Solitaire)を導入して行っています。中でもSolitaireは実際の供給が2014年7月からという最新のデバイスです。

この様な処置が行えるのは原則として発症から8時間までです。当然早ければ早いほど患者さんの予後は良くなります。

#### 血栓除去療法 薬事承認

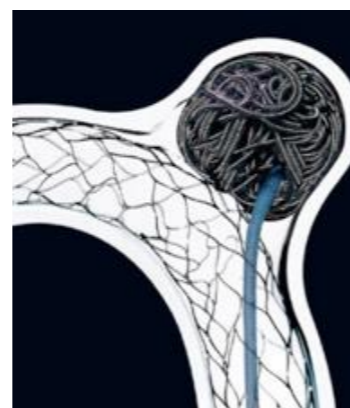
Merci (Available. 2010年4月30日)  
Penumbra (Available. 2011年6月9日)  
Solitaire (Available. 2013年12月20日)



最新鋭の血栓回収デバイスを導入

### ■ 未破裂脳動脈瘤治療

くも膜下出血の多くは、脳動脈瘤の破裂により引き起こされます。その治療は、動脈瘤の位置、大きさ、形状、分岐血管との関係によって難易度、方法が変わってきます。当センターでは、開頭手術による脳動脈瘤クリッピング術、血管内治療によるコイル塞栓術と併せて、新しい治療であるステントを用いた治療も行っています。ステント治療の登場により動脈瘤の血管内治療の適応が大きく変わりました。



### ■ 血栓溶解療法(t-PA投与)について

t-PA投与による治療では、治療を受けた患者の1/3がほぼ後遺症がなく日常生活が可能とされていますが、治療適応が発症後4.5時間以内の患者に限られています。また、治療前に必要な検査の所要時間を考えると、発症3時間後までには検査を受ける必要があります。

当センターでは迅速に投与を行える体制を整え、血栓溶解療法(t-PA投与)も積極的に行っています。

### ■ 2014年治療実績

脳梗塞	301
内 t-PA投与	38
内 血栓回収治療	31



## 多職種連携による専門的治療

近年、社会的にも医学的にも脳卒中の急性期治療の重要性が注目されております。

当センターも、脳卒中に対する治療の一層の充実を図り、地域の方々により貢献できればと考え、現在は、SCU(脳卒中ケアユニット)9床・ICU8床・一般床36床・専用手術室1室・アンギオ室1室にて、血管病に関わる他科との連携も含め専門的治療を行っています。

また、リハスタッフと連携し、原則入院・手術の翌日からリハビリテーションを開始し、合併症や廃用症候群を最小限に留め、日常生活へ早く復帰していただけるよう働きかけています。

さらに、医療ソーシャルワーカーとの連携により、速やかな社会復帰・在宅支援等を積極的に行っています。

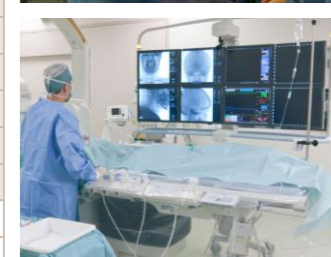


## 治療実績

脳卒中、未破裂脳動脈瘤、脳血管内手術(脳動脈瘤塞栓術、脳血管形成術、頸部内頸動脈ステント留置術、超選択的血栓溶解術)、脳腫瘍、脊髄脊椎疾患、頭部外傷等に対し、安全かつ精度の高い手術を心がけて行っております。特に脳卒中の手術症例に関しては開頭術、脳血管内手術とも豊富な経験を有しておりますし、その治療成績についても満足できる結果となっております。

### ■ 手術件数推移(2011年～2014年)

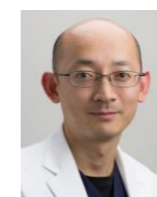
	2011年	2012年	2013年	2014年
脳動脈瘤クリッピング	17	26	28	30
(破裂)	(5)	(15)	(16)	(16)
(未破裂)	(12)	(11)	(12)	(14)
開頭血腫除去術	22	26	38	41
脳脊髄腫瘍	6	3	10	6
脳動静脈奇形	1	2	4	0
バイパス術	5	9	14	6
脊髄脊椎疾患	18	11	5	10
慢性硬膜下血腫(穿頭血腫除去術)	42	33	43	65
シャント術	11	13	12	16
血管内手術	90	118	126	123
(コイル塞栓術)	(37)	(46)	(50)	(34)
(脳閉塞血管障害)	(48)	(71)	(76)	(89)
(内 stent症例)	(44)	(63)	(50)	(39)
合計	212	241	280	297



## 脳血管センタースタッフ



神林 智作  
脳血管センター長/  
脳神経外科部長



壺井 祥史  
脳神経外科副部長



永尾 征弥  
脳神経外科副部長



長山 剛太  
シニアレジデント



成清 道久  
シニアレジデント